



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 大日本住友製薬株式会社

コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子

TEL 06-6203-1407

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	178,026	△5.6	14,726	△1.4	14,480	0.7	9,569	10.6
23年3月期第2四半期	188,574	42.6	14,941	△21.0	14,381	△24.5	8,650	△31.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 8,079百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,654百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.09	—
23年3月期第2四半期	21.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	566,294	328,486	58.0
23年3月期	589,868	323,983	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 328,486百万円 23年3月期 323,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	△7.2	20,000	△35.4	19,000	△33.6	12,000	△28.6	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	397,900,154 株	23年3月期	397,900,154 株
24年3月期2Q	588,230 株	23年3月期	587,168 株
24年3月期2Q	397,312,428 株	23年3月期2Q	397,315,063 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※当社は、機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を11月1日に開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、画期的新薬創出の停滞や新薬開発コスト増大に加え、承認審査の厳格化や抜本的な医療制度改革が世界的に進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、「国内収益構造の変革」、「海外事業の拡大と収益最大化」、「将来の成長のためのパイプラインの強化」を本年度の最重点課題として掲げ、事業活動を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,780億26百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益は147億26百万円（前年同四半期比1.4%減）、経常利益は144億80百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。また、旧東京事業所の土地等の売却益を特別利益に計上したことから、四半期純利益は95億69百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

当連結会計年度から、マーケット毎の医薬品事業の業績管理を一層強化することを目的に、報告セグメントの区分見直しを行っております。セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

当社の国内医薬品事業を中心とする業績であります。高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」、末梢循環改善剤「プロレナール」の戦略品や、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」、肝細胞がん治療剤「ミリプラ」、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」等の新製品に営業資源を集中し、売上高の増加に注力するとともに、ローコスト経営の徹底等、継続的な経営効率の追求による利益の拡大に積極的に取り組みました。しかしながら、前期に実施した成長ホルモン事業譲渡の影響等もあり、売上高は886億23百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は338億78百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

②北米

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクを中心とする米国子会社および当社の北米事業の業績であります。当社のグローバル戦略品である非定型抗精神病薬「ラツダ」の早期の市場浸透・販売拡大に注力するとともに、催眠鎮静剤「ルネスタ」、短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」等の既存品にも積極的なプロモーション活動を行いました。売上高につきましては、現地通貨ベースでは増加したものの円高の影響を受けたことにより561億70百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。また、セグメント利益は「ラツダ」関連の費用が増加したことにより、11億7百万円（前年同四半期比81.4%減）となりました。

③中国

住友製薬（蘇州）有限公司および当社の中国事業の業績であります。カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は33億55百万円（前年同四半期比26.2%増）となりましたが、販売費および一般管理費が増加したことによりセグメント利益は9億5百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

④海外その他

当社から北米および中国以外への輸出等の取引高で、売上高は97億69百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は44億88百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は201億7百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント利益は16億17百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産については、受取手形及び売掛金の減少や特許権等の無形固定資産の償却等により、総資産は前連結会計年度末に比べ235億73百万円減少し、5,662億94百万円となりました。

負債については、有利子負債が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ280億76百万円減少し、2,378億8百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が配当金の支払による減少を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比べ45億2百万円増加し、3,284億86百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成23年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	362,000	17,000	15,500	8,500	21円39銭
今回発表予想（B）	352,000	20,000	19,000	12,000	30円20銭
増減額（B－A）	△10,000	3,000	3,500	3,500	
増減率（％）	△2.8	17.6	22.6	41.2	
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	379,513	30,951	28,616	16,796	42円27銭

売上高は、引き続き円高の影響を受けると見込まれること等から、通期でも平成23年5月11日に公表した前回発表予想を下回る見通しです。販売費及び一般管理費は、マーケティングの強化や研究開発プロジェクトの進捗に伴う費用増が今後見込まれますが、円高による円換算額の減少も想定され、通期では前回発表予想より減少する見通しです。

これらのことから、平成24年3月期通期連結業績予想を、前回発表予想値に対し、売上高は100億円減の3,520億円、営業利益は30億円増の200億円、経常利益は35億円増の190億円、当期純利益は35億円増の120億円に修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,938	8,268
受取手形及び売掛金	107,803	91,599
有価証券	90,921	103,879
商品及び製品	38,442	36,171
仕掛品	2,388	3,512
原材料及び貯蔵品	15,140	15,108
繰延税金資産	33,489	33,122
短期貸付金	25,000	25,000
その他	4,998	6,714
貸倒引当金	△122	△104
流動資産合計	332,999	323,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,227	90,774
減価償却累計額及び減損損失累計額	△49,497	△49,655
建物及び構築物(純額)	41,730	41,118
機械装置及び運搬具	77,089	76,815
減価償却累計額及び減損損失累計額	△65,030	△66,059
機械装置及び運搬具(純額)	12,058	10,756
土地	10,291	10,260
建設仮勘定	941	1,482
その他	27,529	27,742
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,758	△23,025
その他(純額)	4,771	4,716
有形固定資産合計	69,793	68,334
無形固定資産		
のれん	70,369	68,618
特許権	60,984	48,264
その他	11,912	11,259
無形固定資産合計	143,266	128,143
投資その他の資産		
投資有価証券	27,922	28,051
繰延税金資産	7,023	9,365
その他	8,961	9,235
貸倒引当金	△99	△109
投資その他の資産合計	43,807	46,542
固定資産合計	256,868	243,020
資産合計	589,868	566,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,647	16,770
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	10,600	10,000
未払法人税等	7,678	8,796
賞与引当金	7,431	7,679
返品調整引当金	2,289	3,031
売上割戻引当金	15,875	16,398
その他	47,681	36,015
流動負債合計	157,203	98,692
固定負債		
社債	50,000	70,000
長期借入金	43,000	53,000
退職給付引当金	10,266	10,626
その他	5,414	5,489
固定負債合計	108,680	139,115
負債合計	265,884	237,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	304,186	310,180
自己株式	△648	△649
株主資本合計	341,798	347,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,413	5,694
為替換算調整勘定	△23,228	△24,999
その他の包括利益累計額合計	△17,814	△19,305
純資産合計	323,983	328,486
負債純資産合計	589,868	566,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	188,574	178,026
売上原価	57,845	49,766
売上総利益	130,729	128,260
返品調整引当金戻入額	20	—
返品調整引当金繰入額	—	7
差引売上総利益	130,749	128,253
販売費及び一般管理費		
給料	17,471	18,168
賞与引当金繰入額	4,812	5,156
研究開発費	32,807	27,288
その他	60,716	62,913
販売費及び一般管理費合計	115,808	113,526
営業利益	14,941	14,726
営業外収益		
受取利息	241	195
受取配当金	474	397
その他	1,165	833
営業外収益合計	1,881	1,426
営業外費用		
支払利息	874	599
寄付金	900	720
その他	666	352
営業外費用合計	2,441	1,671
経常利益	14,381	14,480
特別利益		
固定資産売却益	—	1,235
特別利益合計	—	1,235
税金等調整前四半期純利益	14,381	15,716
法人税等	5,730	6,146
少数株主損益調整前四半期純利益	8,650	9,569
四半期純利益	8,650	9,569

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,650	9,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,051	280
為替換算調整勘定	△9,253	△1,770
その他の包括利益合計	△11,304	△1,490
四半期包括利益	△2,654	8,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,654	8,079
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,381	15,716
減価償却費	20,749	18,394
のれん償却額	2,027	1,962
退職給付引当金の増減額(△は減少)	386	32
その他の引当金の増減額(△は減少)	508	1,701
受取利息及び受取配当金	△715	△592
支払利息	874	599
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△1,235
売上債権の増減額(△は増加)	3,131	16,021
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,325	1,130
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,348	1,118
未払金の増減額(△は減少)	△4,270	△9,019
その他	△2,221	△4,771
小計	37,825	41,058
利息及び配当金の受取額	891	682
利息の支払額	△945	△563
法人税等の支払額	△7,740	△7,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,030	34,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,316	△22,064
有価証券の売却による収入	750	5,863
有価証券の償還による収入	5,219	14,783
有形固定資産の取得による支出	△3,377	△3,989
有形固定資産の売却による収入	30	1,935
無形固定資産の取得による支出	△832	△1,021
無形固定資産の売却による収入	1,142	—
投資有価証券の取得による支出	△2,476	△1,856
投資有価証券の売却による収入	1,916	410
投資有価証券の償還による収入	1,502	7
その他	△242	△375
投資活動によるキャッシュ・フロー	314	△6,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,500	△50,000
長期借入れによる収入	—	15,000
長期借入金の返済による支出	—	△5,600
社債の発行による収入	—	19,895
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△3,573	△3,575
その他	△46	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,120	△24,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,223	△158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,001	3,332
現金及び現金同等物の期首残高	58,139	82,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,140	86,201

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本(医薬)	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,767	60,761	2,500	164,028	24,546	188,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,238	2,206	371	3,816	19	3,836
計	102,005	62,967	2,871	167,844	24,566	192,410
セグメント利益	16,348	△3,266	846	13,927	1,089	15,017

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品、食品添加物、診断用薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,927
「その他」の区分の利益	1,089
セグメント間取引消去	△75
四半期連結損益計算書の営業利益	14,941

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,623	56,170	3,355	9,769	157,918	20,107	178,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124	—	—	—	124	44	168
計	88,748	56,170	3,355	9,769	158,043	20,151	178,195
セグメント利益	33,878	1,107	905	4,488	40,380	1,617	41,998

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	40,380
「その他」の区分の利益	1,617
研究開発費(注)	△27,288
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	14,726

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、日本、北米、中国等マーケット毎の医薬品事業の業績管理を強化する目的でグループ内の損益管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントの区分方法を従来の日本(医薬)、米国、中国の3区分から、日本、北米、中国、海外その他の4区分に変更しております。これにより、従来日本(医薬)セグメントに含めておりました当社の海外向け取引にかかる業績は、北米、中国、海外その他の各セグメントに含めております。

また、第1四半期連結会計期間から、研究開発費をグローバルに管理しているため各セグメントに配分を行っていません。これにより、セグメント利益を従来の営業利益ベースから、研究開発費控除前の営業利益ベースへと変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	90,220	60,761	2,659	10,387	164,028	24,546	188,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	—	—	—	20	19	40
計	90,240	60,761	2,659	10,387	164,048	24,566	188,615
セグメント利益	33,904	5,966	962	5,422	46,256	1,467	47,723

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品、食品添加物、診断用薬等の事業を含んでおります。

また、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	46,256
「その他」の区分の利益	1,467
研究開発費	△32,807
セグメント間取引消去	25
四半期連結損益計算書の営業利益	14,941

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。